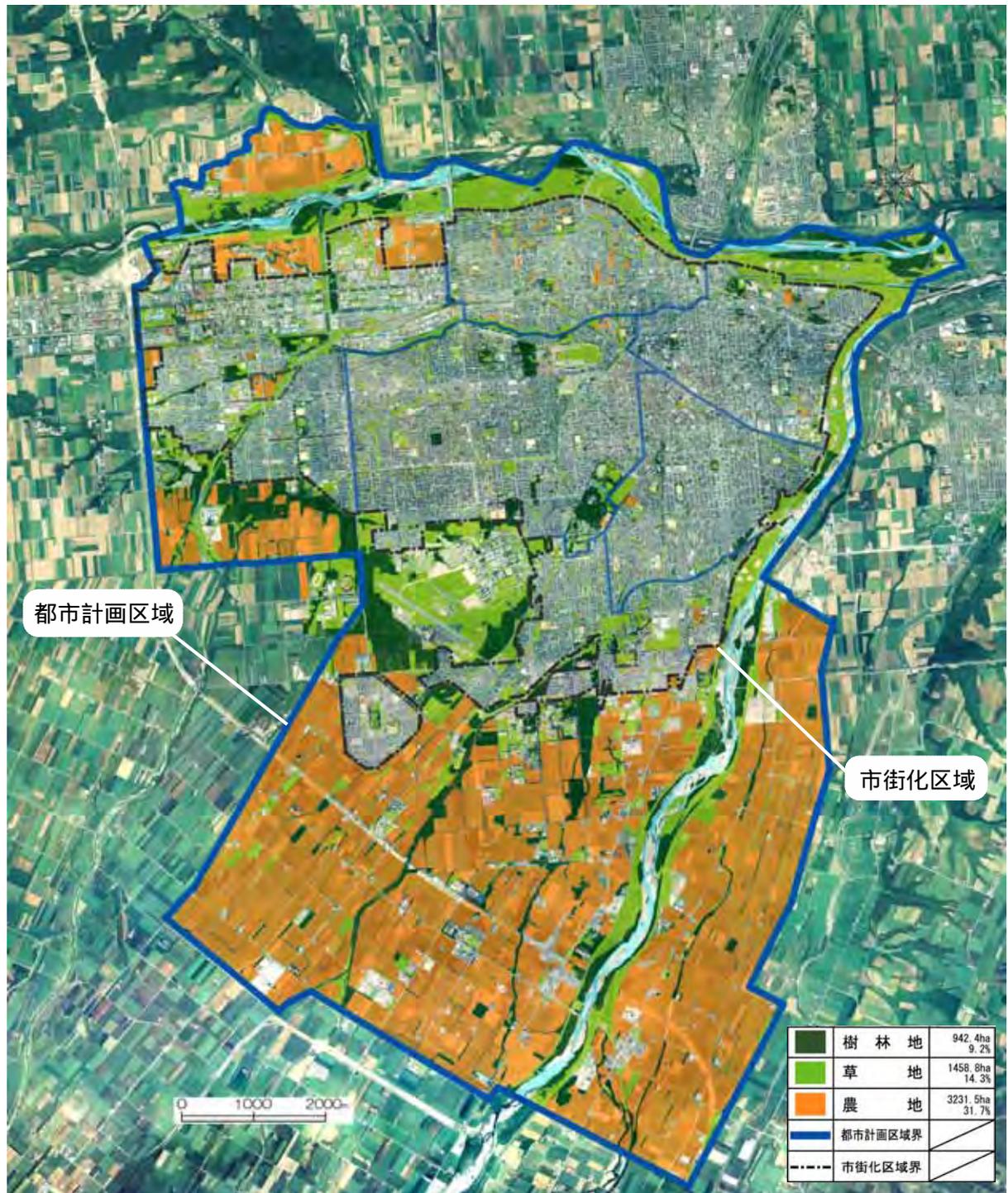


資料

資料1 帯広市の航空写真（平成13年8月撮影）



資料2 関連諸計画の概要

第五期帯広市総合計画

計画の目的：時代の潮流、社会経済情勢の変化、市民の意識変化などをふま
え、21世紀を歩むためのまちづくりの指針として計画を策定。

計画期間：10年間（平成12年度～平成21年度）

計画範囲：帯広市全域。

テーマ：人と自然が共生する可能性の大地 新世紀を拓く田園都市お
びひろ ～緑ひろがる北のフロンティア～

目標：まちづくりの目標を以下のように掲げて計画を策定している。

安心安全都市（安全で安心して生活できる人にやさしいまちづくり）

産業複合都市（地域経済の活性化に貢献し、豊かで活力ある地域社会づくり）

環境共生都市（環境の保全・創造への取り組みと市民が主体的に環境保全行動に
取り組む環境づくり）

生涯学習都市（市民が生涯にわたって自主的に学習できる総合的な環境づくり）

広域連携都市（道内外の地域との間で、産業経済、文化、レクリエーション、な
どの多様な広域交流ネットワークの基盤づくり）

帯広市緑のまちづくり基本計画

計画の目的：緑のまちづくり基本計画推進地域を設定し、人間が生活する上
で快適と感じる緑の量を確保する。

計画範囲：市街化区域を中心に市街化調整区域の一部（帯広の森、つつじ
ヶ丘霊園、河川緑地）を併せた区域。

基本方針：

国有林をはじめとする経済林については機能を確保する。

農業地域における耕地防風林、屋敷林等の保全につとめる。

樹木を増加させるために、公園緑地整備と民有地緑化をすすめる。

目標：緑被率（計画地における樹木の占める割合）30%を目標。

緑倍増計画

計画の目的：都市地域での総合的な都市緑化や緑地保全の方針及び内容を明確にし、失われていった身近な緑の増加や回復を目指し、道路や公園などの都市レベルの緑から住宅地の緑まで、官民一体となった緑豊かで潤いのある魅力的な都市の形成を目的としている。

計画期間：10年間（平成8年～平成17年）

計画範囲：都市計画区域内であるが都市計画区域外についても配慮。

計画の概要：

緑の量の倍増

緑豊かでゆとりと潤いのある快適な環境の創出と美しい景観の形成を推進。

緑の質の倍増

良質な緑の保全をはかり、適正な維持・管理を通じて緑の質の倍増（向上）を目指す。

緑の行動の倍増

人と緑の交流と緑を守り育む行動力をもつ人々の育成により、緑の行動の倍増を目指す。

計画の目標：倍増目標 170,000 本

帯広市都市環境計画

計画の目的：「人と環境にやさしい都市づくり」を推進するために都市環境に関する様々な施策を総合的、計画的にすすめる。

計画のテーマ：「森をつくり、まちをつくり、人をつくる」

環境共生都市像：

都市と農村の一体的な緑の骨格構造の形成。

ゆとりと潤いある緑豊かな都市空間の創出。

環境負荷の小さな都市システムの形成。

都市と農村を結ぶ循環系システムの構築。

都市環境計画の5つの視点：

都市を囲むグリーンベルトの形成。

緑地空間を囲むグリーンベルトネットワークの形成。

車社会からの転換を促す環境負荷低減に資する交通の適正化。

環境負荷低減を目指した省エネルギー型の市街地の形成。

水・物質の適正な循環系の形成。

帯広圏緑のマスタープラン

計画の基本方針：帯広市、音更町、芽室町、幕別町が掲げるそれぞれのまちづくりの理念に基づき十勝らしい風土の中で快適な生活を営むために「生活環境の保全」「レクリエーションの場の確保」「安全性の向上」「都市景観の構成」の観点から緑地を系統的に配置し、その整備と保全をはかる。

計画期間：平成2年～平成27年度。

計画範囲：帯広圏域都市計画区域。

計画の目標数値：

公園整備目標項目	範囲	目標面積
1人当たりの公園面積	市街化区域	20.2 m ² /人
	都市計画区域	95.4 m ² /人

緑地保全地区等の指定目標	箇所数	面積
緑地保全地区	3箇所	4.5ha
風致地区	1箇所	279.5ha
条例等によるもの	8箇所	265.6ha

第5期帯広市地域緑化推進計画

計画策定の主旨：第4期緑化推進計画で着手された緑地の配置計画、緑地の整備、規制、誘導などの施策を継続し、総合的かつ効果的に展開する。

計画期間：平成8年～平成12年度。

計画範囲：帯広市行政区域全域。

計画の基本方針：

緑の配置を定め系統的に緑を創出する。

公共公益施設の緑化を推進。

残された緑は各種法制度を活用し保全する。

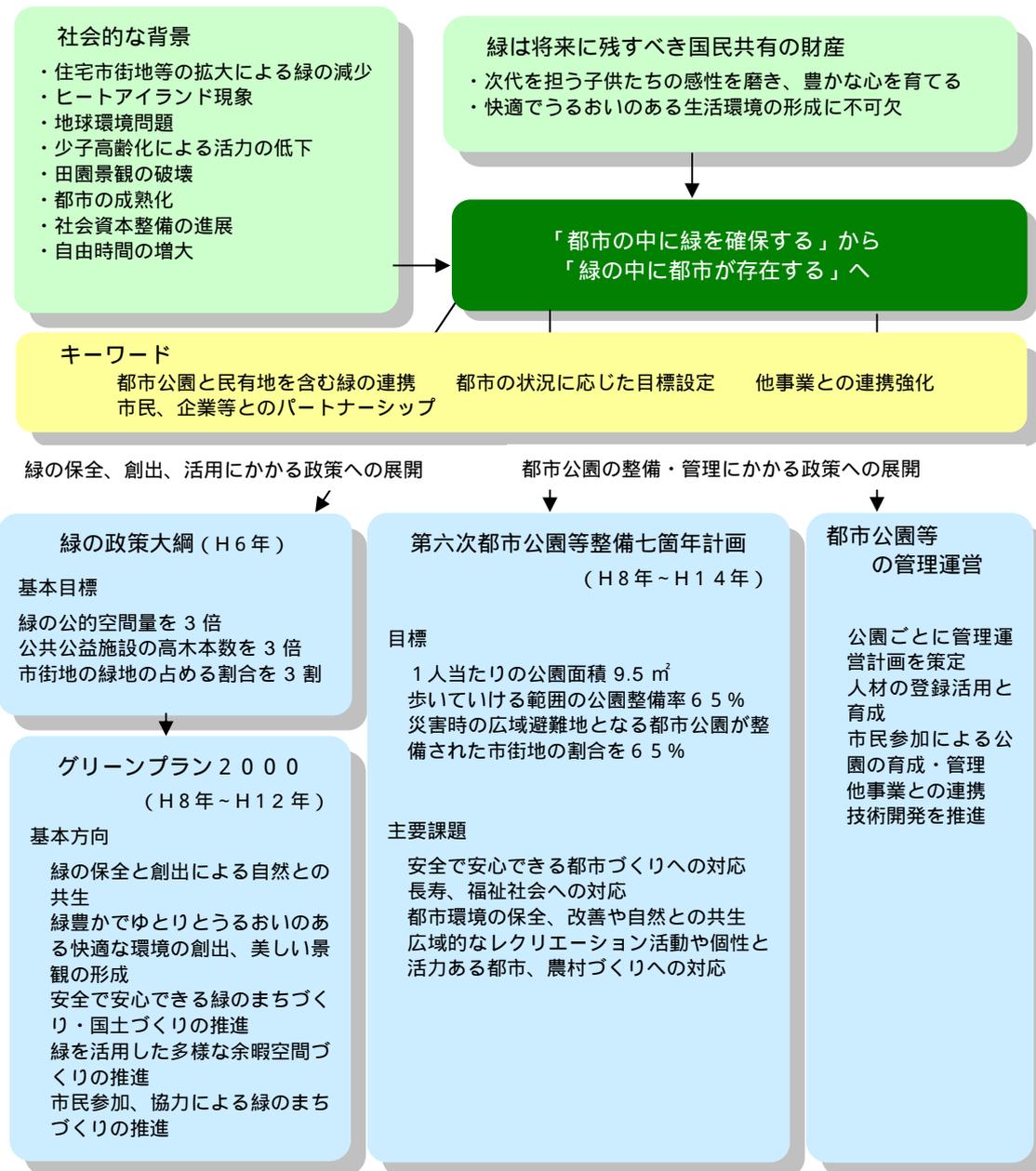
まもり、つくり、そだてる緑化思想を市民に普及させ地域ぐるみで緑化を推進。

環境緑化に関する調査研究を継続。

地域緑化の基本目標：

緑地の確保目標量	目標量	地域に対する割合
緑化推進地域	27,200 h a	約44%
市街化地域	2,400 h a	約55%

資料3 緑を取り巻く社会的な背景と国の政策



資料：都市計画中央審議会答申（H7年）「今後の都市公園等の整備と管理は、いかにあるべきか」

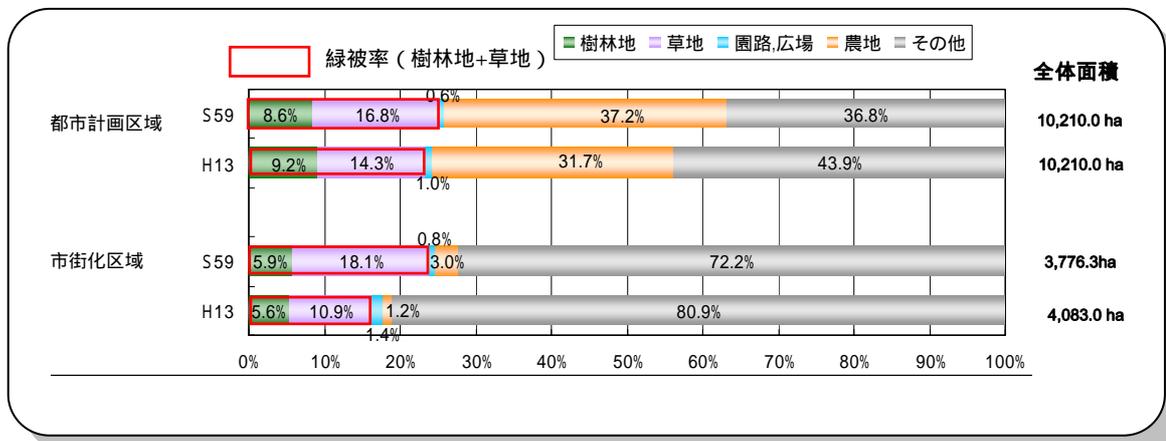
資料4 緑被率調査の結果

都市計画区域の緑被面積
緑被面積の構成（緑被面積表）

		区域面積	緑被地			園路、広場	農地	その他	
			樹林地	草地					
都市計画区域	昭和59年	10,210.0	2594.3	874.0	1720.3	58.1	3799.6	3758.0	
			25.4	8.6	16.8	0.6	37.2	36.8	
	平成13年	10,210.0	2401.1	942.4	1458.8	97.5	3231.5	4479.9	
			23.5	9.2	14.3	1.0	31.7	43.9	
	平成13年-昭和59年			193.2	68.3	261.5	39.4	568.1	721.9
				1.9	0.7	2.6	0.4	5.6	7.1
市街化区域	昭和59年	3,776.3	906.2	221.4	684.8	28.6	115.0	2726.5	
			24.0	5.9	18.1	0.8	3.0	72.2	
	平成13年	4,083.0	671.2	226.9	444.3	58.0	50.1	3303.8	
			16.4	5.6	10.9	1.4	1.2	80.9	
	平成13年-昭和59年			235.0	5.5	240.5	29.3	65.0	577.3
				7.6	0.3	7.3	0.7	1.8	8.7

上段：面積（ha）
下段：構成比（%）

都市計画区域（緑被面積グラフ）



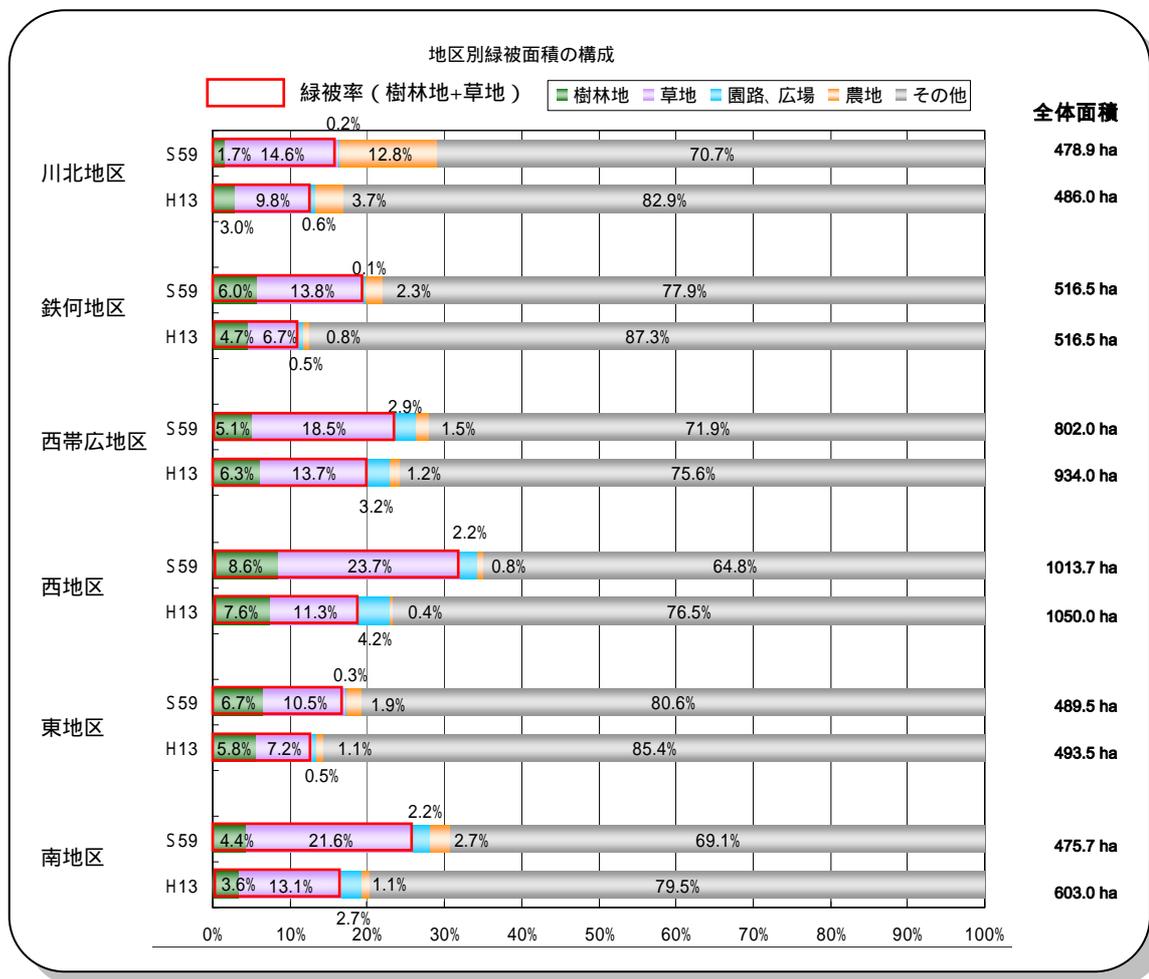
地区別の緑被面積

地区別（緑被面積表）

		区域面積	緑被地			園路、広場	農地	その他
			樹林地	草地				
川北地区	昭和59年	478.9	78.2	8.1	70.2	0.7	61.4	338.5
			16.3	1.7	14.6	0.2	12.8	70.7
	平成13年	486.0	62.1	14.4	47.7	3.1	17.9	402.9
			12.8	3.0	9.8	0.6	3.7	82.9
	平成13年-昭和59年		16.1	6.3	22.5	2.4	43.5	64.4
			3.6	1.3	4.8	0.5	9.1	12.2
鉄南地区	昭和59年	516.5	102.1	30.9	71.2	0.5	11.7	402.2
			19.8	6.0	13.8	0.1	2.3	77.9
	平成13年	516.5	58.8	24.3	34.5	2.4	4.4	450.9
			11.4	4.7	6.7	0.5	0.8	87.3
	平成13年-昭和59年		43.2	6.6	36.7	1.8	7.4	48.8
			8.4	1.3	7.1	0.4	1.4	9.4
西帯広地区	昭和59年	802.0	189.6	41.2	148.5	23.1	12.3	576.9
			23.6	5.1	18.5	2.9	1.5	71.9
	平成13年	934.0	186.7	58.4	128.3	29.7	11.6	706.0
			20.0	6.3	13.7	3.2	1.2	75.6
	平成13年-昭和59年		2.9	17.2	20.1	6.6	0.7	129.1
			3.7	1.1	4.8	0.3	0.3	3.7
西地区	昭和59年	1013.7	327.2	87.4	239.8	22.1	7.8	656.7
			32.3	8.6	23.7	2.2	0.8	64.8
	平成13年	1050.0	198.3	79.3	119.0	44.0	4.4	803.4
			18.9	7.6	11.3	4.2	0.4	76.5
	平成13年-昭和59年		128.9	8.1	120.8	21.9	3.4	146.7
			13.4	1.1	12.3	2.0	0.3	11.7
東地区	昭和59年	489.5	84.5	32.9	51.6	1.2	9.1	394.6
			17.3	6.7	10.5	0.3	1.9	80.6
	平成13年	493.5	64.5	28.8	35.7	2.3	5.2	421.5
			13.1	5.8	7.2	0.5	1.1	85.4
	平成13年-昭和59年		20.0	4.1	15.9	1.1	3.9	26.8
			4.2	0.9	3.3	0.2	0.8	4.8
南地区	昭和59年	475.7	123.8	20.9	102.9	10.4	12.7	328.8
			26.0	4.4	21.6	2.2	2.7	69.1
	平成13年	603.0	100.8	21.7	79.2	16.0	6.6	479.6
			16.7	3.6	13.1	2.7	1.1	79.5
	平成13年-昭和59年		23.0	0.7	23.7	5.6	6.1	150.8
			9.3	0.8	8.5	0.5	1.6	10.4

上段：面積（ha）
下段：構成比（%）

地区別（緑被面積グラフ）



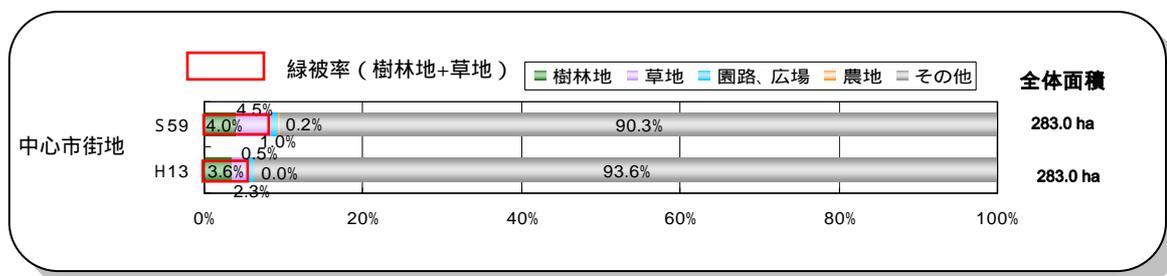
中心市街地の緑被面積

中心市街地（緑被面積表）

		区域面積	緑被地		園路、広場	農地	その他
			樹林地	草地			
中心市街地	昭和59年	283.0	24.2	11.4	2.7	0.6	255.5
			8.5	4.0	1.0	0.2	90.3
	平成13年	283.0	16.7	10.2	1.5	0.1	264.8
			5.9	3.6	0.5	0.0	93.6
平成13年- 昭和59年			7.5	1.1	1.3	0.5	9.3
			2.7	0.4	0.5	0.2	3.3

上段：面積（ha）
下段：構成比（%）

中心市街地（緑被面積グラフ）



資料5 緑視率調査の結果

市街化区域の緑視率

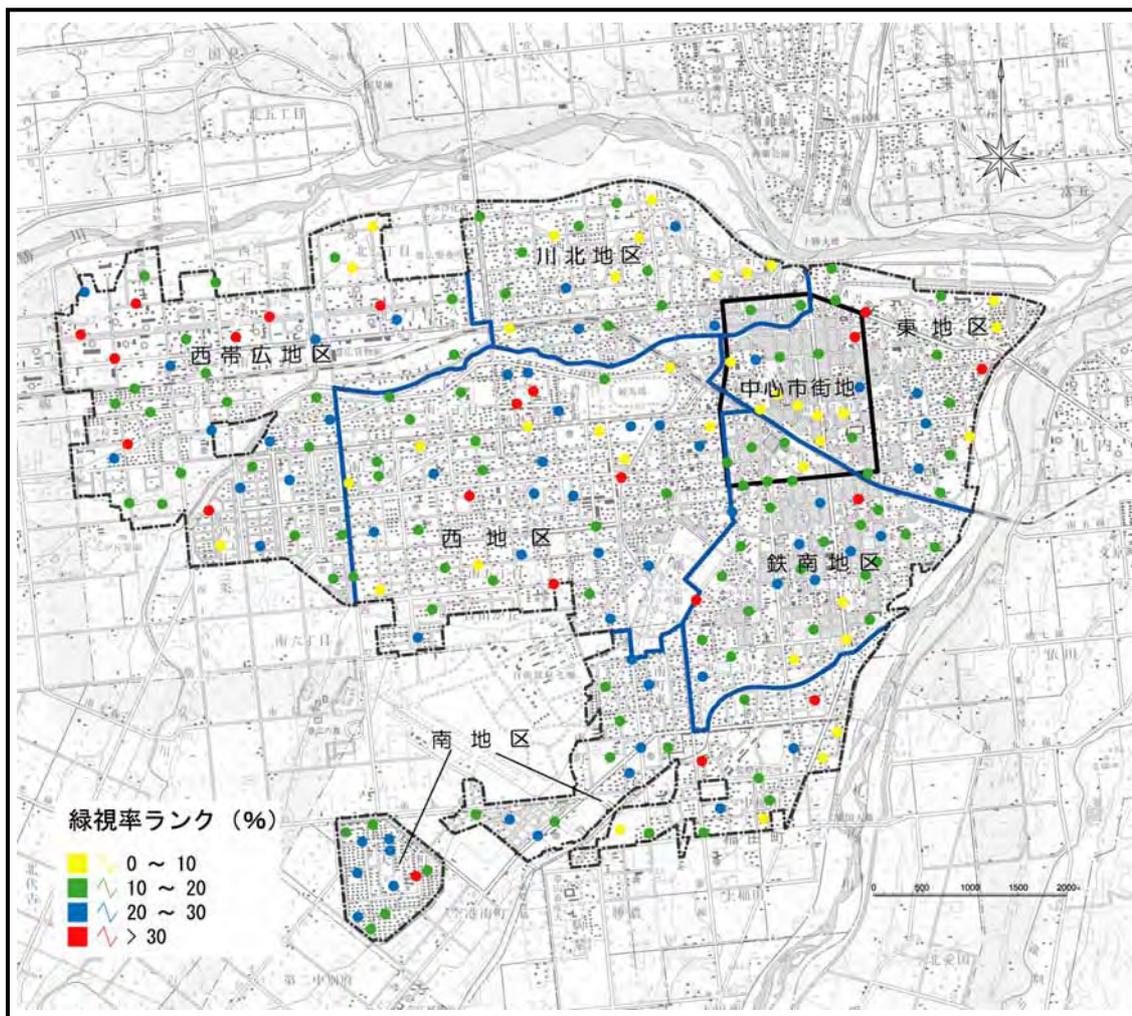
緑視率調査結果は別表に示すように、市街化区域全域の平均が、18.0%となっており、緑の豊かさを身近に実感できる緑視率の値(30%~40%)を下回っています。平均値が20%以上の地区は、西帯広地区、南地区、20%以下の地区は、東地区、鉄南地区、川北地区となっており、特に帯広駅北側は、大半の地点において10%以下となっています。

緑視率の評価

緑視率20%~60%の間が、比較的好意的イメージが得られやすいという研究結果が報告されている。また、人が見て緑を実感できる数値は、30%~40%とされています。

参考文献：(緑の心理的効用に関する基礎的研究 建築物前景における緑量の変化が及ぼすイメージ特性について 北川義男・木元孝之)

緑視調査分布図

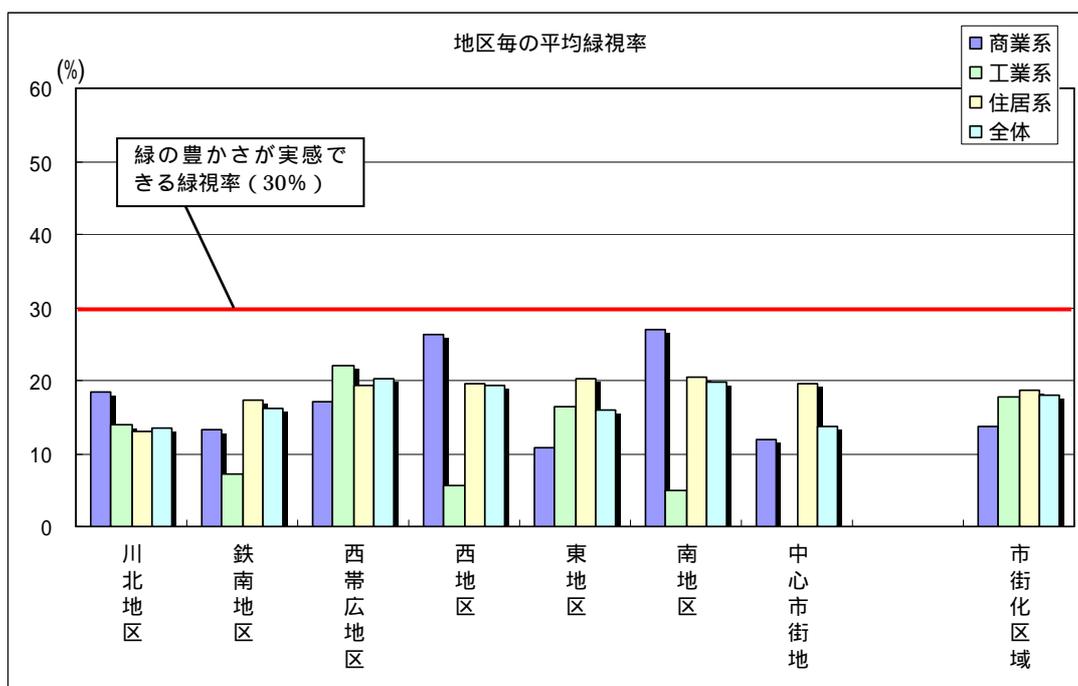


地域別平均緑視率表

地区別	商業系				工業系				住居系				全体				
	緑視率 (%)			地点数 (箇所)													
	平均	最大	最小		平均	最大	最小		平均	最大	最小		平均	最大	最小		
地区別	川北地区	18.4	34.3	8.1	1	14.0	39.3	1.6	3	13.1	52.0	0.3	18	13.4	52.0	0.3	22
	鉄南地区	13.3	52.7	0.5	6	7.1	25.7	0.7	2	17.4	66.7	0.6	28	16.1	66.7	0.5	36
	西帯広地区	17.1	35.1	4.9	2	22.1	56.9	0.5	17	19.2	57.5	0.2	23	20.3	57.5	0.2	42
	西地区	26.4	50.9	3.6	1	5.7	9.3	1.8	1	19.5	60.1	0.5	45	19.3	60.1	0.5	47
	東地区	10.7	41.9	0.4	12	16.4	43.7	1.5	4	20.3	65.5	0.3	14	15.9	65.5	0.3	30
	南地区	27.0	45.5	4.4	1	4.9	10.8	1.2	2	20.5	57.0	0.7	34	19.9	57.0	0.7	37
中心市街地	12.0	52.7	0.4	17	-	-	-	-	19.7	65.5	5.2	5	13.7	65.5	0.4	22	
市街化区域	13.7	52.7	0.4	23	17.7	56.9	0.5	29	18.7	66.7	0.2	162	18.0	66.7	0.2	214	

注：計測は1地点（交差点）で、4方向の撮影を行っています。

地区別平均緑視率グラフ



土地利用区分別の緑視率

ここでは、既存の計画で緑づくりの施策を展開してきた、商業地域・工業地域・住宅地域について、それぞれの地域で緑視率の数値が高い場所と低い場所と比較します。

商業地域の緑

緑視率：33.5%



西5条南15丁目
(商業地域)

歩道の中央部にも街路樹が植栽されているため緑視率が高くなっています。

緑視率：7.0%



西2条南10丁目
(商業地域)

街路樹が成長過程にあるため、緑視率はまだ低くなっています。

緑視率：38.9%



西5条南5丁目
(近隣商業地域)

公共施設の駐車場に緑があるために、駐車場脇の歩道空間が緑で豊かになっており、緑視率も高くなっています。

緑視率：14.2%



西1条南11丁目
(商業地域)

街路樹が成長過程であることと、駐車場に緑化がされていないため、緑視率が低くなっています。

注：写真は緑視率の数値が高い場所と低い場所の代表的な箇所を抽出。

工業地域の緑

緑視率：56.9%



西25条北1丁目
(工業専用地域)

工場敷地内の緑と街路樹によって高い緑視率になっており、工場地区ということあまり感じさせません。

緑視率：15.0%



西24条北2丁目
(工業専用地域)

雑草により15%の数値となっているが、歩道が狭いため街路樹がなく、駐車場にも緑化されていないため、潤いを感じられません。

住宅地域の緑

緑視率：41.3%



西1条南20丁目
(第1種住居地域)

公園の樹木とその周辺の緑も豊かで緑被率が高くなっています。

緑視率：5.9%



西12条北7丁目
(第1種住居地域)

街路樹が成長過程であるため、緑視率が低くなっています。

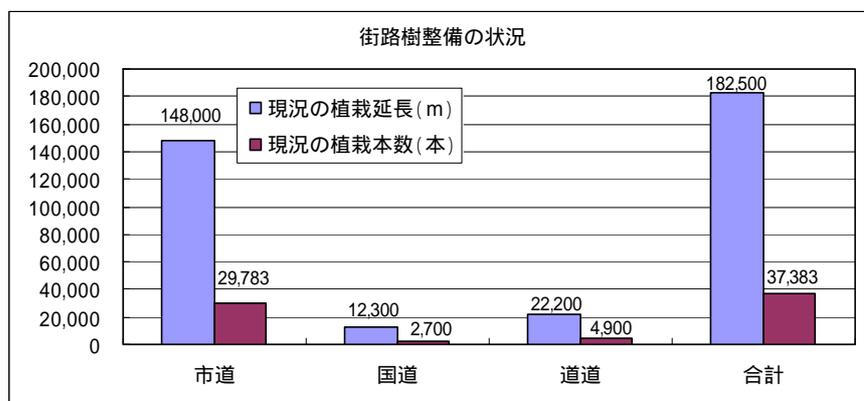
注：写真は緑視率の数値が高い場所と低い場所の代表的な箇所を抽出。

資料6 街路樹調査の結果

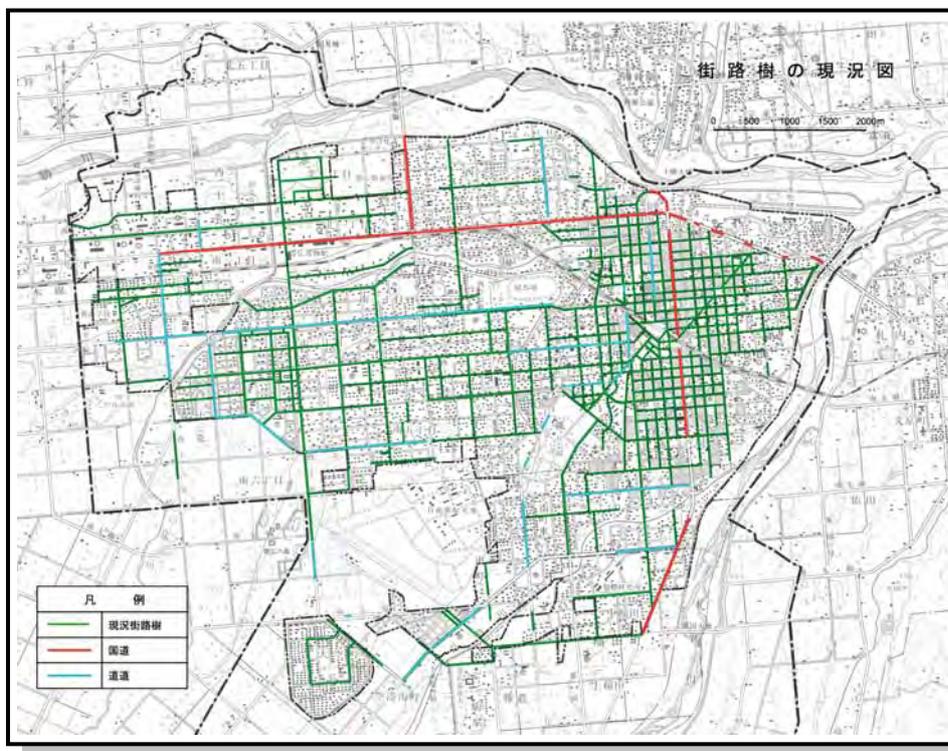
街路樹整備状況

市街地においては、道路幅員が16m以上及び歩道幅員が4.5m以上の道路に街路樹が植栽されており、特に中心市街地及び周辺地区においては、集中的に街路樹の整備が行われています。

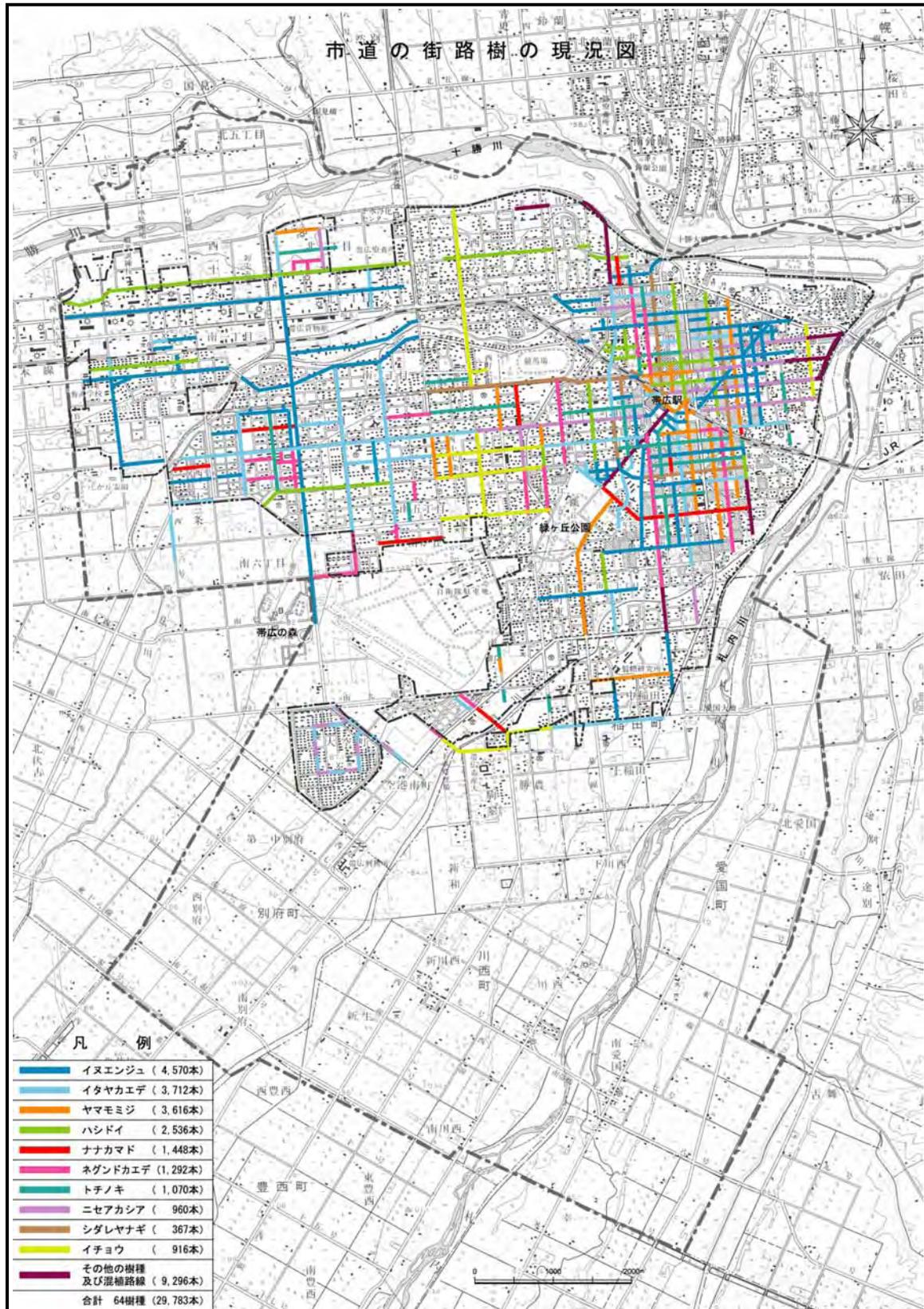
現在の街路樹は、市道が延長約148km(29,783本)、国道が延長約12.3km(約2,700本)、道道が約22.2km(約4,900本)であり、合計で約182.5km(約37,383本)が整備されています。



街路樹整備現況図



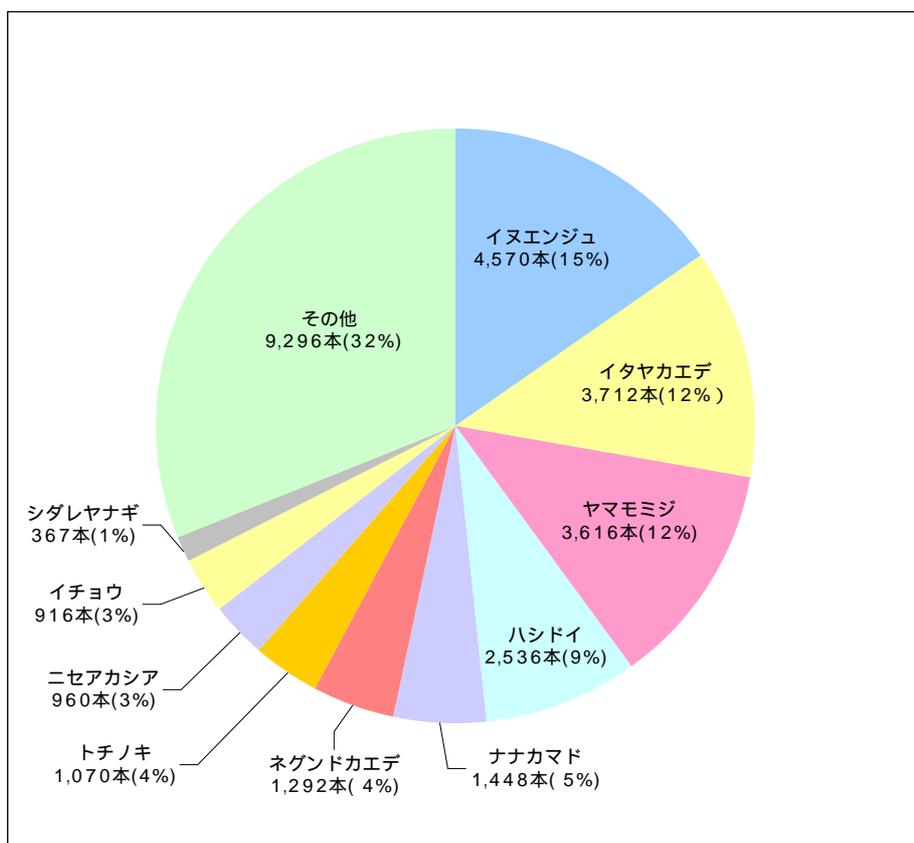
街路樹整備現況図（樹種別）



樹種別の整備状況

本市では、主に、イヌエンジュ、イタヤカエデ、ヤマモミジなどが植えられています。現在はこれらに加えてナナカマド、イチョウなどが多く植栽されています。以前はネグンドカエデ・トチノキ・ニセアカシア・シダレヤナギなどの樹木も植えられていましたが、近年は、樹木の性質が街路樹に適さないなどの理由により植えられていません。

市道の街路樹の構成



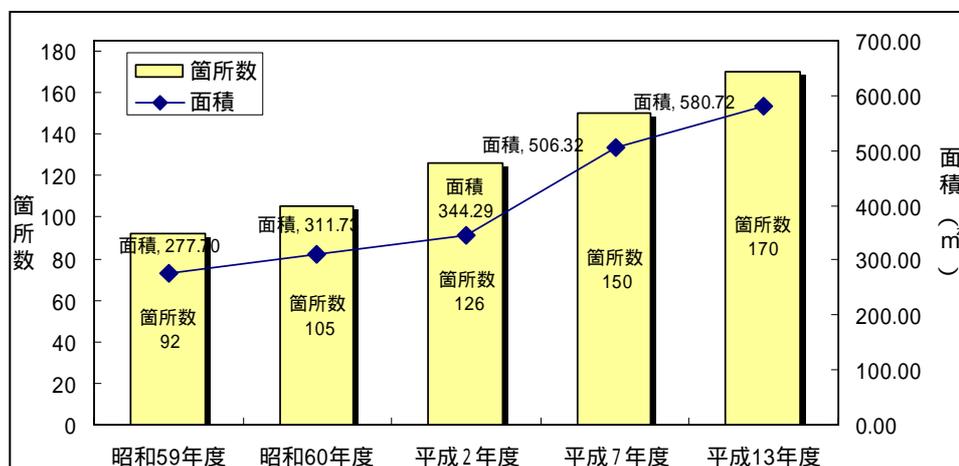
資料7 公園調査の結果

公園整備の推移

種 別	項 目	昭和 59 年度		平成 13 年度			
		都市計画区域	市街化区域等	都市計画区域	市街化区域等		
基 幹 公 園	住区基幹公園	街区	箇所数	62	61	120	118
		公園	面積 (ha)	12.84	12.74	26.31	25.89
	近隣	箇所数	9	9	15	15	
		公園	面積 (ha)	19.20	19.20	36.50	36.50
	地区	箇所数	3	3	3	3	
		公園	面積 (ha)	17.95	17.95	23.00	23.00
	都市基幹公園	総合	箇所数	1	1	1	1
		公園	面積 (ha)	42.50	42.50	50.47	50.47
		運動	箇所数	1		1	
		公園	面積 (ha)	63.00		180.12	
大規模公園	広域	箇所数	1		1		
	公園	面積 (ha)	112.05		232.56		
都市緑地	箇所数	15	15	29	28		
	面積 (ha)	10.16	10.16	31.76	29.56		
合 計	箇所数	92	89	170	165		
	面積 (ha)	277.70	102.55	580.72	165.42		
	1人当たりの面積 (㎡/人)	18.1	7.1	34.5	10.2		

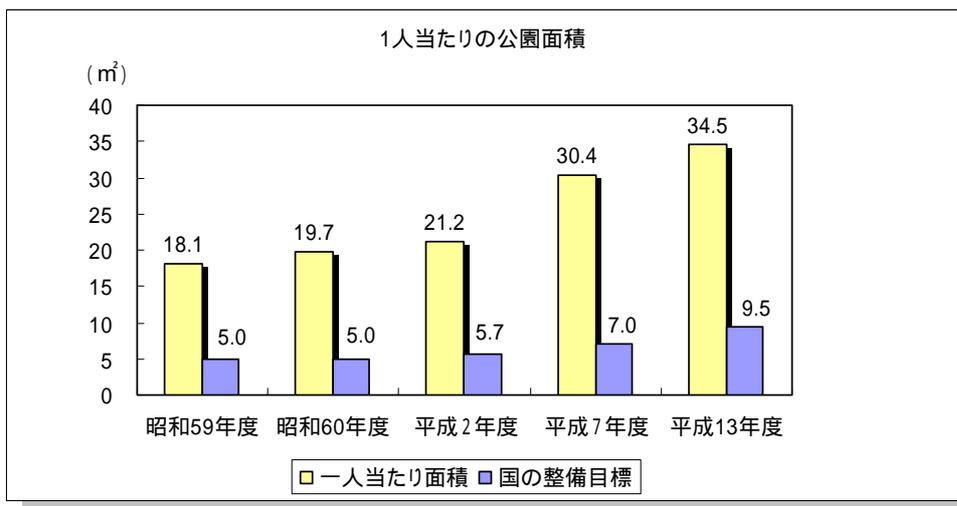
昭和59年度時点（人口は都市計画区域 153,500 人、市街化区域等 145,300 人）
 平成13年度現在（人口は都市計画区域 168,100 人、市街化区域等 161,600 人）
 参考：北海道の都市計画（北海道建設部都市計画課）

公園の面積と箇所数



一人当たりの公園面積

一人当たりの公園面積は、都市計画区域では、約 34.5 m²、市街化区域では、約 10.2 m²となっています。これは、国土交通省が定めている都市計画区域内の一人当たりの公園整備面積の目標値 9.5 m²と比較すると大きく上回る数値となっています。



帯広市集計

身近な公園の整備状況

各地域の日常生活圏において適正に配置される事が望ましい住区基幹公園のうち、特に子供やお年寄りなどの弱者が、より利用しやすい距離にある近隣公園や街区公園を“身近な公園”として位置づけし、これらの公園の配置状況を把握します。

平成 13 年度における身近な公園は、市街化区域全域で誘致距離から見た状況においては 67%の地域が満たされており、昭和 59 年の 42.6%と比較すると、公園整備が大幅にすすんでいます。特に西帯広地区や西地区は、宅地造成とともに公園が整備され、工業団地を除くとほぼ良好な状況にあります。一方、競馬場の東側周辺などのように、昭和 59 年から状況が変わらない地区もみられます。

公園誘致圏については、平成 15 年 3 月 28 日の都市計画法施行令改正により変更されており、本計画では参考資料として記載する。

誘致面積カバー率

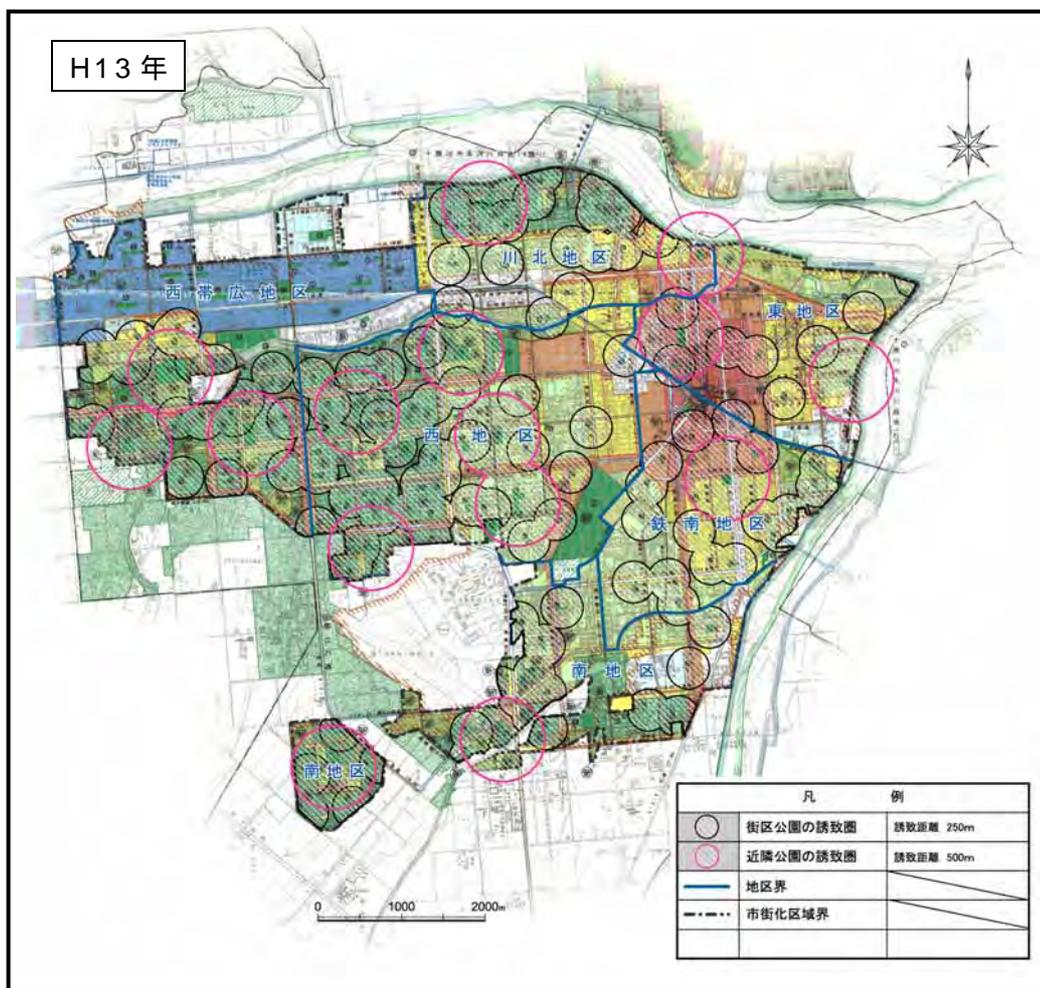
街区公園と近隣公園を合わせた誘致図（昭和 59 年）



地区名	地区面積 (ha) [市街化区域]	誘致面積 (ha)	誘致面積カバー率(%)
川北	478.9	271.1	56.6
鉄南	516.5	258.3	50.0
西帯広	802.0	146.3	18.2
西	1,013.7	483.7	47.7
東	489.5	253.2	51.7
南	475.7	196.3	41.3
合計	3,776.3	1,608.9	42.6

地区面積は帯広市データ、誘致面積はCAD計測によります。

街区公園と近隣公園を合わせた誘致図（平成 13 年）



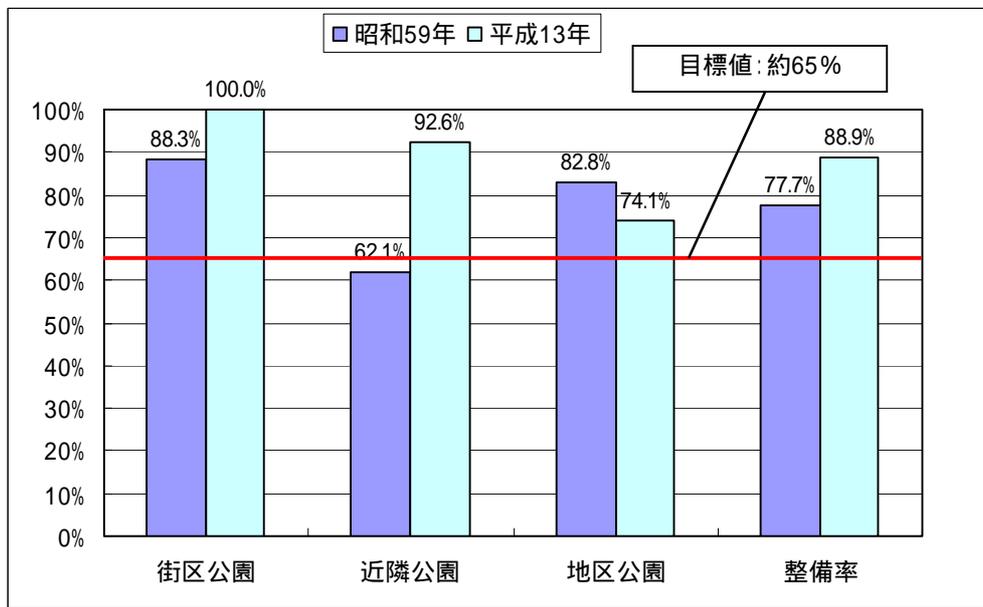
地区名	地区面積 (ha) [市街化区域]	誘致面積 (ha)	誘致面積カバー率(%)
川北	486.0	362.4	74.6
鉄南	516.5	323.4	62.6
西帯広	934.0	479.5	51.3
西	1,050.0	901.8	85.9
東	493.5	283.5	57.4
南	603.0	386.4	64.1
合計	4,083.0	2,737.0	67.0

地区面積は帯広市データ、誘致面積はCAD計測によります。

歩いていける範囲の公園整備率

国土交通所省では第6次都市公園等整備7箇年計画(平成8～平成14年)のなかで、「歩いていける範囲の公園」の整備指標が定められています。そして、標準的な箇所数と面積に対する「歩いていける範囲の公園」の整備率は、平成14年度末までの目標を約65%と設定しています。これと同様の計算式で帯広市の整備状況を算出すると、88.9%となり、昭和59年における整備率70.6%から18年間で約19%向上しています。

歩いていける範囲の公園整備状況



都市公園等の種類

種 類		内 容
基 幹 公 園	住 区 基 幹 公 園	街路公園 主として街区内に居住するものの利用に供することを目的とする公園で誘致距離 250m の範囲内で一ヶ所あたり面積 0.25ha を標準として配置する。
	近隣公園	主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする公園で 1 近隣住区当り 1 ヲ所を誘致距離 500m の範囲内で 1 ヲ所当り面積 2 ha を標準として配置する。
	地区公園	主として徒歩圏内に居住する者に供することを目的とする公園で誘致距離 1 km の範囲内で 1 地区当り 1 ヲ所面積 4 ha を標準として配置する。 また都市計画区域外の地域の生活環境の向上をはかることを目的として一定の町村における特定地区公園（カントリーパーク）は、面積 4 ha 以上を標準とする。
	都市 基 幹 公 園	総合公園 都市住民全般の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする公園で都市規模に応じ 1 ヲ所当り面積 10～50ha を標準として配置する。
	運動公園	都市住民全般の主として運動の用に供することを目的とする公園で都市規模に応じ 1 ヲ所当り面積 15～75ha を標準として配置する。
大 規 模 公 園	広域公園	主として一の市町村の区域を越える広域のレクリエーション需要を充足することを目的とする公園で、地方生活圏等広域的なブロック単位ごとに 1 箇所当り面積 50ha 以上を標準として配置する。
	レクリエーション都市	大都市その他の都市圏から発生する多様かつ選択性にとんだ広域レクリエーション需要を充足することを目的とし、総合的な都市計画に基づき、自然環境の良好な地域を主体に、大規模な公園を核として各種のレクリエーション施設が配置される一団の地域であり、大都市圏その他の都市圏域から容易に到達可能な場所に、全体規模 1,000ha を標準として配置する。
国 営 公 園		主として一の都府県の区域を越える様な広域的な利用に供することを目的として国が設置する大規模な公園にあっては、1 ヲ所当り面積おおむね 300ha 以上を標準として配置、国家的な記念事業等として設置するものについては、その設置目的にふさわしい内容を有するように整備する。
緩 衝 緑 地 等	特殊公園	風致公園、動植物公園、歴史公園、その他特殊公園、墓園でその目的に則し配置する。
	緩衝緑地	大気汚染、騒音、振動、悪臭等の公害防止、緩和若しくはコンビナート地帯等の災害の防止をはかることを目的とする緑地で、公害、災害発生源地域と住居地域、商業地域等とを分離遮断することが必要な位置について公害、災害の状況に応じ配置する。
	都 市 林	市街地及びその周辺部においてまとまった面積を有する樹林地等において、その自然環境の保護、保全、自然的環境の復元をはかれるよう充分に配慮し、必要に応じて自然観察、散策等の利用のための施設を配置する。
	広場公園	市街地の中心部の商業・業務系の土地利用がなされている地域における施設の利用者の休息のための休養施設、都市景観の向上に資する修景施設等を主体に配置する。
	都 市 緑 地	主として都市の自然的環境の保全ならびに改善、都市景観の向上をはかるために設けられる緑地であり、1 ヲ所当り面積 0.1ha 以上を標準として配置する。 但し既成市街地等において良好な樹林地等がある場合は植樹により都市に緑を増加又は回復させ都市環境の改善をはかるために緑地を設ける場合にあってはその規模を 0.05ha 以上とする。（都市計画決定を行わずに借地により整備し都市公園として配置するのを含む。）
緑 道	災害時における避難路の確保、市街地における都市生活の安全性及び快適性の確保等をはかることを目的として、近隣住区又は近隣住区相互を連絡するように設けられる植樹帯及び歩行者路又は自転車路を主体とする緑地で幅員 10～20m を標準として、公園、学校、ショッピングセンター、駅前広場等を相互に結ぶように配置する。	

（都市公園法に基づく分類）

資料 8 既存計画及びその他の目標に対する達成状況

帯広圏緑のマスタープラン

本計画は、公園整備及び緑地保全地区等の指定を平成 27 年の目標数値として以下のように示しています。

公園整備目標項目	範 囲	帯広圏緑のマスタープラン目標面積	現 状
1人当たりの公園面積	市街化区域	20.2 m ² /人	10.2 m ² /人
	都市計画区域	95.4 m ² /人	34.5 m ² /人

第 5 期帯広市地域緑化推進計画

本計画は、緑地の確保量目標数値を以下のように示しています。緑の基本計画では、緑地の定義を明確にし、現状を以下のように整理しています。

範 囲	緑地面積		緑地の割合	
	確保目標	現 状	確保目標	現 状
緑化推進地域（帯広市行政区域）	27,200 ha		約 4 4 %	
都 市 計 画 区 域		5,633 ha		約 5 5 %
市 街 化 区 域	2,400 ha	721 ha	約 5 5 %	約 1 8 %

注：緑地（緑被率調査で求めた樹林地・草地・農地面積の合計）

帯広市緑のまちづくり基本計画

本計画では、都市計画区域の緑被率のうち、樹林地の面積を目標数値として以下のように示しています。

範 囲	樹林地の緑被率	
	まちづくり基本計画の目標	現 状
都 市 計 画 区 域	30%	9.2%

緑倍増計画

本計画では、公共施設及び民有地における樹木植栽を平成17年の目標数値として、以下のように示しています。

高 木 本 数		達 成 率
平成17年度末目標本数	平成13年度末達成本数	
175,685 本	91,988 本	52.4%

国の目標

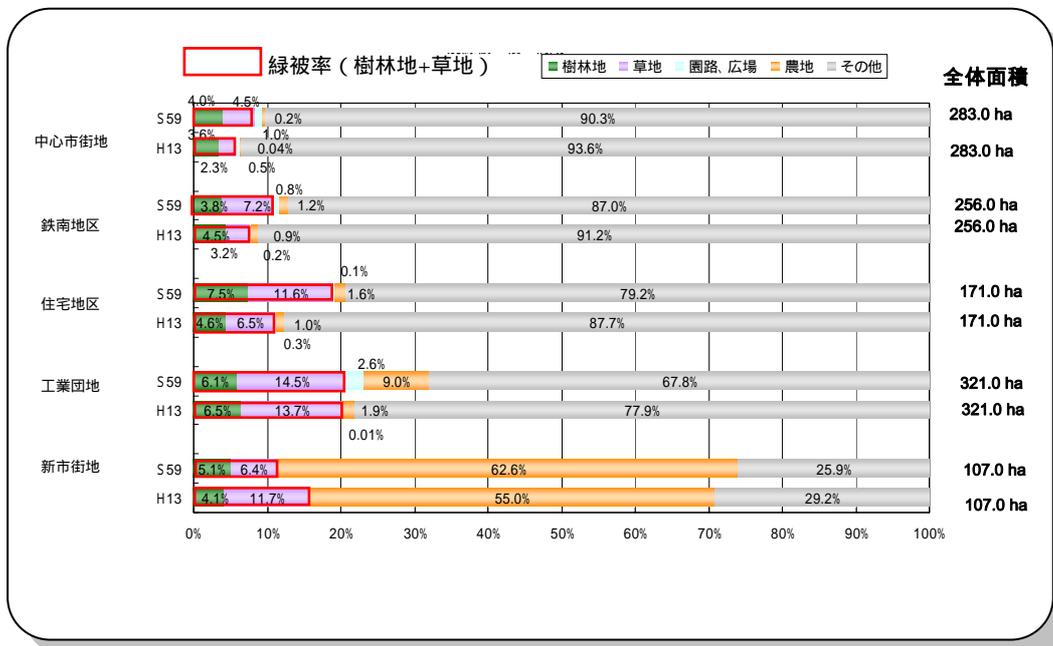
国土交通省では、一人当たりの公園面積及び歩いていける公園の整備率を以下のように目標数値として示しています。

公園整備目標項目	範 囲	国の目標面積 (平成14年度末)	現 状
1人当たりの公園面積	都市計画区域	9.5 m ² /人	34.5 m ² /人

公園整備目標項目	範 囲	国の目標面積 (平成14年度末)	現 状
歩いていける公園の整備率	都市計画区域	約65%	約89%

資料9 重点地区候補地の緑被面積

緑被面積グラフ

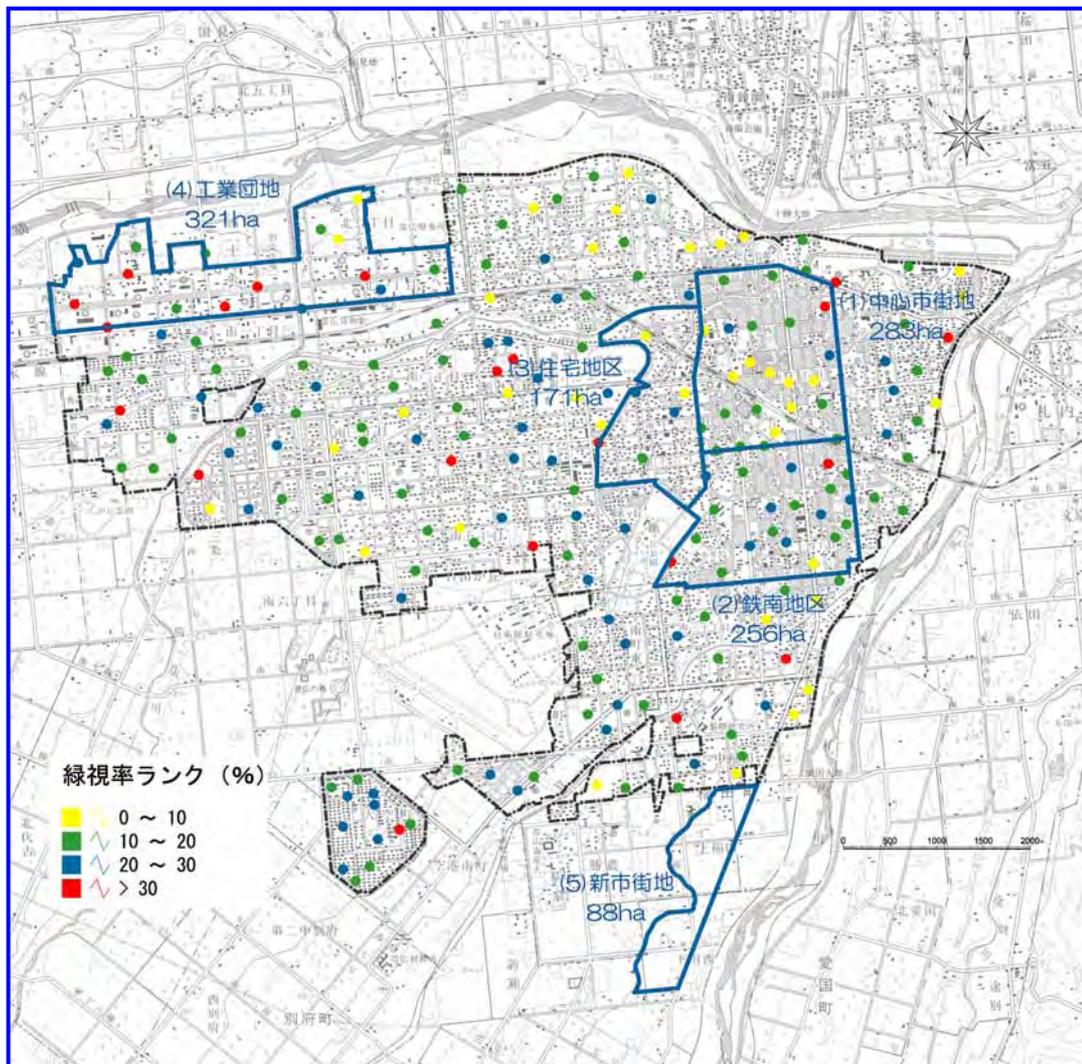


緑被面積表

	区域面積	緑被地		園路、広場	農地	その他		
		樹林地	草地					
中心市街地	昭和59年	283.0	24.2	11.4	12.8	2.7	0.6	255.5
			8.5	4.0	4.5	1.0	0.2	90.3
	平成13年	283.0	16.7	10.2	6.5	1.5	0.1	264.8
	平成13年-昭和59年		5.9	3.6	2.3	0.5	0.0	93.6
鉄南地区	昭和59年	256.0	28.2	9.8	18.4	2.0	3.0	222.7
			11.0	3.8	7.2	0.8	1.2	87.0
	平成13年	256.0	19.8	11.6	8.2	0.4	2.3	233.5
	平成13年-昭和59年		7.7	4.5	3.2	0.2	0.9	91.2
住宅地区	昭和59年	171.0	32.7	12.8	19.9	0.1	2.8	135.4
			19.1	7.5	11.6	0.1	1.6	79.2
	平成13年	171.0	19.0	7.8	11.2	0.5	1.6	149.9
	平成13年-昭和59年		11.1	4.6	6.5	0.3	1.0	87.7
工業地区	昭和59年	321.0	66.2	19.5	46.7	8.3	28.8	217.8
			20.6	6.1	14.5	2.6	9.0	67.8
	平成13年	321.0	64.7	20.7	44.0	0.0	6.1	250.1
	平成13年-昭和59年		20.2	6.5	13.7	0.0	1.9	77.9
新市街地	昭和59年	107.0	12.3	5.4	6.9	-	-	67.0
			11.5	5.1	6.4	-	-	62.6
	平成13年	107.0	16.9	4.4	12.5	-	-	58.8
	平成13年-昭和59年		4.6	1.0	5.6	-	-	8.2
		4.3	0.9	5.2	-	-	7.6	

上段：面積 (ha) 下段：構成比 (%)

資料 10 重点地区候補地の緑視率



候補地区の土地利用別の緑視率

	商業系				工業系				住居系				全体			
	緑視率 (%)			地点数 (箇所)												
	平均	最大	最小		平均	最大	最小		平均	最大	最小		平均	最大	最小	
中心市街地	12.0	52.7	0.4	17	-	-	-	-	19.7	65.5	5.2	5	13.7	65.5	0.4	22
鉄南地区	11.9	32.3	0.5	2	6.0	19.0	0.7	1	19.5	66.7	1.2	19	18.2	66.7	0.5	22
住宅地区	-	-	-	-	5.7	9.3	1.8	1	21.1	45.7	0.8	5	18.5	45.7	0.8	6
工業団地	-	-	-	-	22.7	56.9	3.2	16	-	-	-	-	22.7	56.9	3.2	16
地区平均	11.9	52.7	0.4	19	20.9	56.9	0.7	18	19.8	66.7	0.8	29	17.8	66.7	0.4	66

